

教職ガイダンス（2年生）関係資料

事前にガイダンス資料に目を通して、履修登録をするようにしてください。詳細については、4月6日（木）に実施する各学年の教職ガイダンスで説明します。

2年生

資料番号等	資料名
資料1	令和4年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について（2～4年生対象）
資料3	教職履修カルテの入力について
資料4	履修カルテ 操作説明書（HPのみ掲載）
資料7	教職課程履修要件内規について
	K-CIP（Cコース）テキスト販売（ガイダンス時に配布）



※ガイダンス資料へのリンク

令和 5 年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について (2~4 年生対象)

I 履修登録の留意事項及び履修カルテについて (2~4 年生共通)

1 履修状況の確認と履修登録の留意事項について

教員免許取得のためには、学士を有し (=大学を卒業)、教員免許状取得のための所定の単位を満たしておく必要があります。そのためには、まず、前年度までの自分の単位修得状況を把握し、今年度の履修登録を計画的に行う必要があります。

- ①まずは、学生ポータルサイト (UNIPA) から、各自、成績一覧表をダウンロードし、現在までの履修状況を把握してください。
(学生ポータルサイト (UNIPA) の URL <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>)
- ②卒業要件については、学生便覧や履修ガイドで確認してください。
- ③3~4 年生については、教員免許取得に必要な単位に関し、各入学年度の学生便覧「教職課程履修規程」別表ア~カを用いて、今年度の履修登録を計画してください。
参考として次ページに確認方法の例を示します。
- ④開講期が変更となっている科目もあります。前後期の時間割の両方をよく確認して履修登録を行ってください。
- ⑤配当年次で修得できなかった科目については、時間割の都合上、配当年次より上位の学年で、他教科と重複し履修ができない可能性があるため、配当年次での修得に努めてください。

2 履修カルテの入力について

「教職履修カルテの入力について」【資料 3】及び「履修カルテ 操作説明書」【資料 4】を確認し、期間内に入力を完了してください。

II 履修登録の留意事項 (学年別、学部別)

1 スポーツ学部 3 年生以上

- ①「保健体育科教育法Ⅲ」及び「学校体育のマネジメント」はクラス分けがされていますので、確認の上、履修登録を行うようにしてください。
- ②3 年生が、「教育心理学」(2 年次配当)を履修する場合は、前期月曜日において、次のように履修登録をしてください。

3 年生 (A C E G クラス) の学生		3 年生 (B D F クラス) の学生	
3 限	「教育心理学」(2 年配当)	3 限	「生徒・進路指導論」(B D F)
4 限	「生徒・進路指導論」(A C E G)	4 限	「教育心理学」(2 年配当)

- ③3 年次で「教育心理学」を履修する学生が、K-CIP も履修している場合は、「教育心理学」「生徒・進路指導論」「特別活動指導法」を優先し、履修してください。

2 両学部 2 年生以上

教職課程履修要件内規について

教育実習を実施するにあたっては、3 年次後期の成績が確定した時点で、教職課程履修要件内規を満たしていることが条件となります。今年度の履修登録を行う際は、教職課程履修要件内規を確かめたうえで、行うようにしてください。【各学年履修ガイド・資料 7】

3 両学部 3 年生以上

「事前事後指導」について

- ①「事前事後指導」は、実習生として教育現場に立つための“総仕上げ”と実習の“振り返り”を行う科目です。「事前事後指導」の履修登録は、4 年次での前期となりますが、3 年次後期から事前指導を行います。
なお、授業日程については、後期ガイダンスでお知らせする予定です。
- ②3 年次後期の事前指導を受講しない場合や教職課程履修規程内規の要件を満たせなかった場合は、次年度の「教育実習Ⅰ・Ⅱ」及び「事前事後指導」、「教職実践演習（中・高）」を履修することはできませんので、留意してください。

4 両学部 4 年生

中学校教諭一種免許取得、もしくは中学校教諭一種免許及び高校教諭一種免許の取得を目指す学生は、「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「事前事後指導」「教職実践演習（中・高）」を履修登録してください。

高校教諭一種免許のみを取得希望の学生は、「教育実習Ⅰ」、「事前事後指導」「教職実践演習（中・高）」を履修登録してください。

「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「事前事後指導」「教職実践演習（中・高）」は、UNIPA の『学生時間割表』で、いずれも集中講義の欄に記載されます。

Ⅲ その他

①大学からの電話について

093-693 から始まる電話は大学からの着信です。必ず、折り返すようにしてください。教務課から学生に対し、個別に電話連絡をする場合がありますので、電話番号を変更した場合は、必ずキャリア支援課に届け出てください。

②教職課程公式 LINE について

教職課程を履修する 3・4 年生は、「教職課程公式 LINE について（3, 4 年生、科目等履修生対象）」は、別紙に記載する LINE アカウントに登録するようにしてください。

教職履修カルテの入力について《重要》

履修カルテは、教員免許状の取得に必要な科目の修得状況のほか、教職履修上の課題や課題達成状況などを、みなさんに記入していただくためのものです。そのため、教職課程を履修する全学生が必ず行う必要があります。別紙の「履修カルテ 操作説明書」に従って、下記の期間中に入力を完了させてください。入力していないと4年生後期開講の「教職実践演習（中・高）」が受講できなくなります。

特に4年生は、後期の「教職実践演習（中・高）」受講要件となりますので、新規に入力事項がない場合でも、改めて内容の確認をして、必ず確定ボタンをおしてください。

なお、入力方法等、不明な点は教務課へお尋ねください。

記

【入力について】

①入力要領については、別紙『履修カルテ操作説明書』【資料4】を大学HPに掲載していますので確認して入力してください。

②教職履修カルテの入力項目は以下の5つです。自己を振り返って、入力を行ってください。

1	目標設定	現在の学年欄について、今年度の目標を入力してください。
2	資格関連科目 修得状況	前年度後期を振り返って、入力してください。
3	学外活動に関する科目	前年度後期を振り返って、入力してください。特に書くことがない場合は、記入の必要はありません。
4	必要な資質能力についての自己評価	前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（現2年生は、1年生の欄に入力。現3年生は、2年生の欄に入力。現4年生は、3年生の欄に入力。）
5	教職を目指す上での課題・対策	現在の学年欄について、今年度の課題・対策を入力してください。

③入力後は、必ず確定ボタンを押してください。また、一旦ログアウトして、再度ログインして、正しく登録されているか確認してください。

【入力期間・学内利用可能場所について】

学内入力期間 : 4月5日（水）9:00～17:00、4月7日（金）9:00～17:00

学内利用可能場所 : PC教室1（S354）、PC教室2（S364）、PC教室3（S333）
PC教室4（S432）、PC教室5（S424）

ネット環境のあるパソコンからであれば自宅等からも入力可能です。

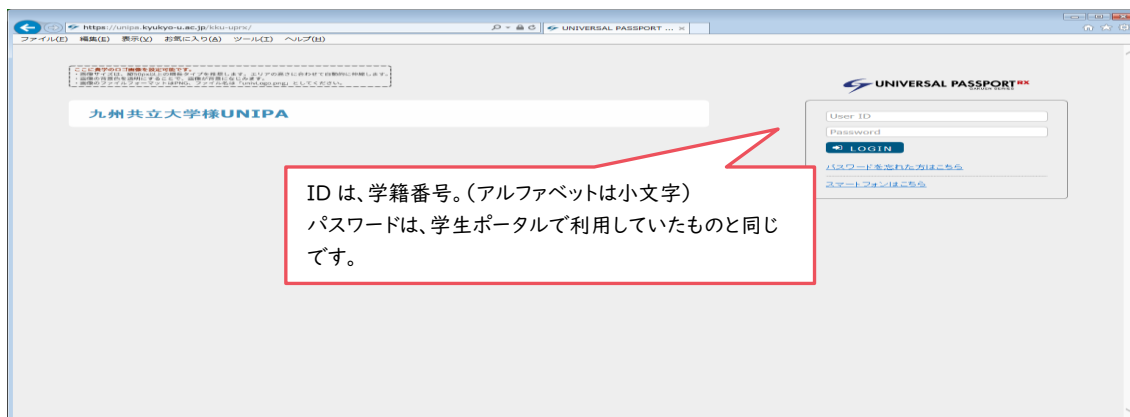
学外から登録 : 4月5日（水）9:00～4月7日（金）17:00 [この間を通じて登録可能]

以上

履修カルテ 操作説明書

1. UNIVERSAL PASSPORT にアクセスし、ID およびパスワードを入力。

URL <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>



2. 上部のメインメニューの[履修カルテ]より、[履修カルテ登録]を選択します。その後、学籍番号を入力し、検索ボタンを押してください。



3.【履修カルテ登録】画面が表示されます。

①『基本情報』タブを押下し、『目標設定』エリアを設定します。

提出受付中

[提出受付中]になっているときに
学生は履修カルテの更新が可能です。

PDF/Excel 形式で履修カルテの
ダウンロードが可能です。

2019 年度以前に入学した学生については、以前のシ
ステムのデータが、全て 1 年次の枠に登録されている
ため、必要に応じて修正してください。
また、改行等の体裁も現システムの枠に合わせて必要
に応じて修正してください。

一定時間画面操作がない場合、ログアウトされ、
保存を押していない入力内容は破棄されますので
定期的な一時保存をしてください。

②『資格関連科目 修得状況』エリアでは、プルダウンから資格を選択すると、下部に資格関連科目
で修得した科目の一覧が表示されます。

資格関連科目 修得状況

資格 教職希望(スポーツ)

科目	単位数	修得年度学期	担当教員	素点	学修の振り返り
バドミントン	1.0	2018年度前期	田島 さと		A
					B
					A(楽しかった)
					A(楽しめないのが悔しい)

・学修の振り返りを入力してください。
・2019 年度以前に入学した学生は、今まで自己評価を A~E でおこなった上で、
コメントを書てきましたが、今後は、コメントのみの入力によいです。
・入力可能文字数は半角 200 文字までです。(全角は 2 文字でカウントします。)
・2019 年度以前に入学した学生は、以前のシステムに制限文字数以上の入力
があったものについては、200 文字以降が切り捨てられているため、修正してくだ
さい。

③『学外活動に関する記録』エリアを設定します。行追加をクリックすると入力エリアが表示されます。

▼ 学外活動に関する記録

行追加

活動期間	活動内容/総括
2019/09/02 ~ 2019/09/06	・社会福祉施設にて毎日の食事の世話や、入浴の際の補助を行った。

④『自己評価』タブを押下し、『必要な資格能力についての自己評価』エリアを設定します。

資格プルダウンから資格を選択し、各指標の自己評価を入力します。

基本情報 **自己評価**

▼ 必要な資格能力についての自己評価

資格: 教員免許状・スポーツカルテ

A: 目標達成度80%以上 (達成している) B: 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある) C: 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である) D: 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から進歩) E: 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

評価分類	評価項目	指標	1年次	2年次	3年次
学校教育についての理解	教職の意義・役割	教職の意義、理念を理解しているか			
	教育史、教育思想についての素養	教育の歴史、教育思想について基礎的な素養を修得できているか			
児童生徒に対する責務	学校教育の社会的役割についての理解	学校教育の社会的責務、教員の職務内容を理解しているか			
	教師としての責務	児童・生徒に対する教師としての責務を理解しているか			
	心理・発達論的な理解	児童・生徒を心理・発達論的知識で理解する素養を修得できているか			

以下の項目の自己評価を入力して下さい。

A 目標達成度80%以上 (達成している)
 B 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある)
 C 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である)
 D 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から進歩)
 E 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

⑤『教職を目指す上での課題・対策』エリアを設定します。

▼ 教職を目指す上での課題・対策

対象学年	教職を目指す上での課題・対策
1年次	
2年次	
3年次	

2019年度以前に入学した学生は、以前のシステムのデータは全て1年次の枠に登録されているため、必要に応じて修正してください。

⑥履修カルテの入力が完了したら【確定】をクリックしてください。

一時保存

○ 確定

一時保存だけでは提出されないため、必ず確定を押してください。

教職課程履修要件内規について

1. 教職課程履修要件内規について

3年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認して下さい。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

《経済学部》

経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 3年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む28単位以上、〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む14単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第7条関係）に定める全科目（免許法施行規則第66条の6に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、上記教職関連全科目を含む3年次終了までのGPA（成績評価値）が2.0以上であること。
- (2) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (3) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

《スポーツ学部》

スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ（教科に関する専門的事項）に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。
- (2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道徳教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。
なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。
- (3) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

※GPAについては、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。